

汎用シミュレーションシステム



S⁴ Simulation System

Version 4.0 新機能紹介

特徴

S⁴ Simulation Systemは以下のような特徴を持ったシミュレーションシステムです。

- GUIによるモデリング
- psim言語による柔軟なカスタマイズ
- Generatorを用いた柔軟なプロセスモデリング
- 分析機能とグラフ表示機能
- パラメータの最適化機能
- ハイブリッドシミュレーション

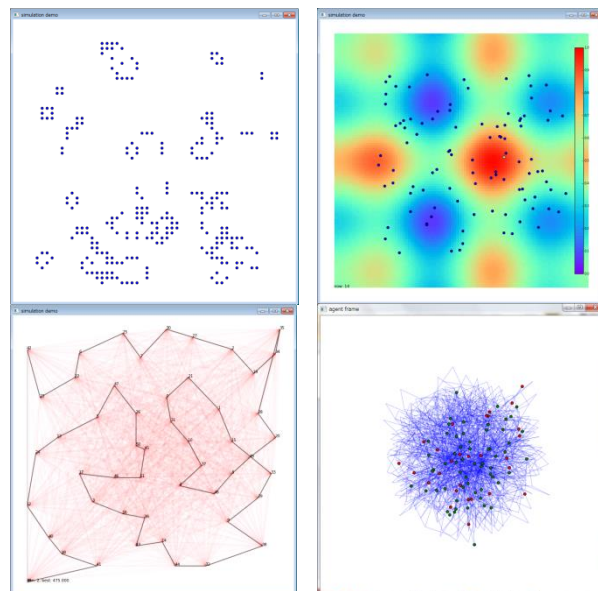
新機能

エージェントシミュレーション

より柔軟で拡張性の高いエージェントシミュレーションのモデリングが可能になりました。エージェントのモデリング方法には大きくわけて2タイプあります。各エージェントのシミュレーションステップが同期するタイプと、それぞれのエージェントが独立した離散イベントシミュレーションを行うタイプです。どちらのタイプでもモデリングが可能です。

```
エージェント編集 (非同期マルチエージェント分散シミュレーション)
属性設定 エージェントの属性と処理 エージェントの属性の追加と削除
リセット
def run(self):
    # #リセットボタン
    # 一度だけリセットは完了
    while self.state == "tweet":
        # #リセットボタンを押したとき
        result = yield self.epool.get(name = "tweet")
        tweet = result["tweet"]
        # #状態を reset にする
        self.state = "sleep"
        self.screenSize = 30
        self.screenColor = "g"
        self.agentset.nsleep = 1
        self.agentset.monitor.observe(now(), self.agentset.nsleep)
        # #あるエージェントが tweet を見た時に、リセットする
        if self.agentset.ep.nsleep() < self.rtp:
            yield pause(self.rtp.next())
            # #リセットボタン
            agents = self.findNeighbourAgents(d = 1)
            for agent in agents:
                agent.epool.put(tweet)
            # #状態を reset にする
            self.state = "tweet"
            self.screenSize = 30
            self.screenColor = "r"
    yield alwaysFalse()
```

エージェントシミュレーションのモデリングにおいて必要となる、エージェントが属す環境、たとえばユークリッド空間、グラフ空間などはあらかじめ用意されており、ユーザはエージェントロジックのモデリングに専念することができます。また、環境ごとに基本的なビューも用意されており、容易に可視化を行えます。もちろん、シミュレーションモデル独自のビューを実装することも可能となっています。



サポート

自社開発製品なので迅速且つきめ細やかなサポートをご提供いたします。また、お客様の目的に合わせたカスタマイズや周辺ソフトウェアの開発にも積極的に対応いたします。弊社の長年にわたるシミュレーション・データ解析分野の経験で蓄積したノウハウを元に、お客様の問題に最適なソリューションを提供いたします。

お問い合わせ



株式会社NTTデータ 数理システム

〒160-0016
東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 1 階
TEL : 03-3358-6681 FAX : 03-3358-1727
E-mail s4-info@msi.co.jp
URL <http://www.msi.co.jp/s4/>